

香取市 御中

まちづくりワークショップ

提 案 書

平成 19 年 3 月

〔生活・環境グループ〕

【目次】

1 . 香取市の課題・問題点について	1
(1) メンバーの意見.....	1
(2) メンバー意見の「課題」集約.....	2
(3) 「課題」の整理マトリックス.....	2
2 . 生活・環境分野におけるまちづくりの方向性	4
(1) 里山・里川づくりの推進	5
(2) 環境情報センターの設置	6
(3) 水質保全（浄化）の推進	7
(4) アダプト制度の積極的展開.....	8
(5) 環境農業への取り組み支援.....	9
(6) 防災・減災教育の強化と防災意識の醸成.....	10
(7) 渋滞解消を目指した交通政策の推進	10
(8) ごみ問題を核とした市民の行動変容	11
3 . メンバーからの事業提案内容.....	12
(1) 「里山・里川づくりの推進」に係る事業提案シート.....	12
(2) 「環境情報センターの設置」に係る事業提案シート.....	22
(3) 「水質保全（浄化）の推進」に係る事業提案シート.....	25
(4) 「アダプト制度の積極的展開」に係る事業提案シート	27
(5) 「環境農業への取り組み支援」に係る事業提案シート	29
(6) 「防災・減災教育の強化と防災意識の醸成」に係る事業提案シート	33
(7) 「渋滞解消を目指した交通政策の推進」に係る事業提案シート	36
(8) 「ごみ問題を核とした市民の行動変容」に係る事業提案シート	37

1. 香取市の課題・問題点について

(1) メンバーの意見

生活・環境分野における香取市の問題点について、委員から出された意見は以下のとおりでしたが、その意見をグループ分けすると、「環境」「交通安全・防犯」「消防・防災」「基盤整備」「その他」の5グループに分けられました。

「環境」に関する意見

- ・環境情報センターが必要である。
- ・(源氏) 蛍の生息空間を確保すべきである。
- ・一般廃棄物の分別収集の徹底が必要である。
- ・小野川上流での水質浄化対策が必要である。
- ・里山づくりを進めるべきである。(花の咲く木でいっぱい)
- ・鳥獣保護対策の充実が必要である。(野鳥の生息地の確保)
- ・香取市環境基本計画を市民参加により策定する必要がある。
- ・ごみの収集・処理体制が不十分である。
- ・里川づくりを推進するべきである。
- ・休耕田を自然環境の浄化に活用すべきである。

「交通安全・防犯」に関する意見

- ・安全確実な防犯対策を進めるべきである。
- ・少年補導員等の活動について市民意識(認識)を高める必要がある。
- ・防犯パトロール(子どもパトロール)の全市的展開を図るべきである。

「消防・防災」に関する意見

- ・防災教育の充実が必要である。
- ・自主防災組織の全市的展開が必要である。
- ・非常備消防の充実が必要である。(消防団)
- ・救急医療体制の充実が必要である。(医師の確保)
- ・災害時における弱者救済の仕組みが必要である。

「基盤整備」に関する意見

- ・道路渋滞の解消を図るべきである。
- ・道路問題に対する市民意識の把握が必要である。
- ・公共下水道の整備を進めるべきである。
- ・計画的な土地利用が求められる。(むやみな土砂採取の制限)

「その他」に関する意見

- ・公共施設の活用を図るべきである。
- ・市と県との行政の連携が必要である。
- ・人口増をめざす都市づくりを進める必要がある。
- ・アダプト制度(里親制度)を推進するべきである。
- ・若者が居付くまちにする必要がある。(魅力のある中核地方都市)
- ・医療体制を充実させる必要がある。
- ・観光客にお金を落としてもらう仕組みが足りない。
- ・環境保全から見た農業を推進するべきである。

(2) メンバー意見の「課題」集約

「環境」「交通安全・防犯」「消防・防災」「基盤整備」「その他」の5グループそれぞれの問題点を、課題（解決すべきこと、解決に向けて目指すべきこと）として意見の再構築をすると、以下のとおりとなります。

<p>A. 環境</p> <ul style="list-style-type: none"> (蛭) 蛭の生息空間の確保 (里) 里山・里川づくり (鳥) 鳥獣保護 ごみ、廃棄物の収集処理体制が不十分 河川の水質の汚染 環境情報センターの設置(環境基本計画づくり) 休耕田の自然環境浄化活用 	<p>B. 交通安全・防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> 防犯対策の未整備 防犯パトロール活動が不十分 市民の防犯への意識不足 (少年補導員の活動等)
<p>C. 消防・防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 非常備消防(消防団)体制が不十分 防災教育の不足 自主防災組織が不十分 救急医療体制の未整備 災害弱者の救済システムの構築化 	<p>D. 基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的な土地利用ができていない 公共下水道の整備が不十分 道路問題への市民の意識の 共有化が必要 道路における渋滞の解決
<p>E. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 市と県の連携体制の不足 人口増加の都市づくり 公共施設の活用の少なさ 医療体制が不十分 	<ul style="list-style-type: none"> 観光で潤う仕組みができていない アダプト制度の導入 (ボランティア活動の受入) 環境保全から見た農業の推進

(3) 「課題」の整理マトリックス

さらに、再構築した課題（解決すべきこと、解決に向けて目指すべきこと）を、「短期的に対応が必要と考えられる課題」と「対応に中長期かかると考えられる課題」を縦軸に、「行政だけで対応すべきもの」と「市民と行政が協働で対応していくべきもの」を横軸に、4セルのマトリックスに配置すると、次頁のとおりとなりました。

その結果、委員が考える香取市の課題は、「行政だけで対応すべきもの」よりも「市民と行政が協働で対応していくべきもの」が多く、また「市民と行政が協働で対応していくべきもの」は「短期」と「中長期」に分けて解決を考えるのではなく、「今からすぐに、しかも継続的に」解決を図るべき事項が多い、という結果となっています。

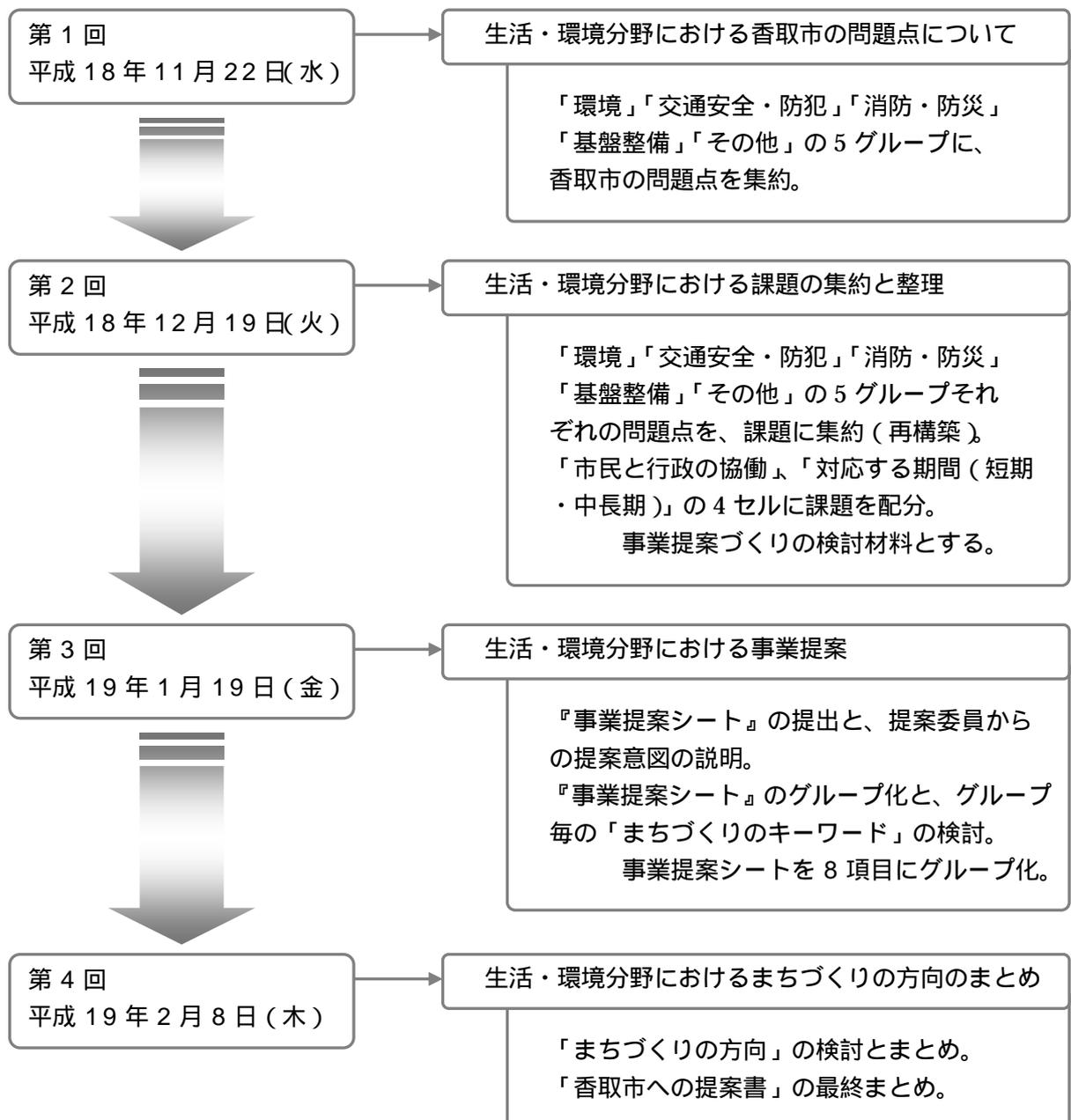
	行政だけで対応すべきもの	市民と行政が協働で対応していくべきもの
短期的に対応が必要と考えられる課題	<p>【環境】</p> <p>A - : 休耕田の自然環境浄化活用</p> <p>【交通安全・防犯】</p> <p>【消防・防災】</p> <p>C - : 救急医療体制の未整備</p> <p>【基盤整備】</p> <p>D - : 計画的な土地利用ができていない</p> <p>D - : 道路における渋滞の解決</p> <p>【その他】</p> <p>E - : 市と県の連携体制の不足</p> <p>E - : 人口増加の都市づくり</p> <p>E - : 医療体制が不十分</p>	<p>【環境】</p> <p>A - (蛭): 蛭の生息空間の確保 (源氏蛭を対象とする)</p> <p>A - (里): 里山・里川づくり</p> <p>A - (鳥): 鳥獣保護</p> <p>A - : ごみ、廃棄物の収集処理体制が不十分</p> <p>A - : 環境情報センターの設置 (環境基本計画づくり)</p> <p>【交通安全・防犯】</p> <p>B - : 防犯対策の未整備</p> <p>B - : 防犯パトロール活動が不十分</p> <p>【消防・防災】</p> <p>C - : 非常備消防(消防団)体制が不十分</p> <p>C - : 防災教育の不足</p> <p>C - : 自主防災組織が不十分</p> <p>C - : 災害弱者の救済システムの構築化</p> <p>【基盤整備】</p> <p>D - : 道路問題への市民の意識の共有化</p> <p>【その他】</p> <p>E - : 観光で潤う仕組みができていない</p> <p>E - : アダプト制度の導入 (ボランティア活動の受入)</p> <p>E - : 環境保全から見た農業の推進</p>
対応に中長期かかると考えられる課題	<p>【環境】</p> <p>【交通安全・防犯】</p> <p>【消防・防災】</p> <p>【基盤整備】</p> <p>D - : 公共下水道の整備が不十分</p> <p>D - : 道路における渋滞の解決</p> <p>【その他】</p> <p>E - : 人口増加の都市づくり</p> <p>E - : 公共施設の活用の少なさ</p>	<p>【環境】</p> <p>A - (蛭): 蛭の生息空間の確保 (源氏蛭を対象とする)</p> <p>A - (里): 里山・里川づくり</p> <p>A - (鳥): 鳥獣保護</p> <p>A - : ごみ、廃棄物の収集処理体制が不十分</p> <p>A - : 河川の水質の汚染</p> <p>A - : 環境情報センターの設置 (環境基本計画づくり)</p> <p>【交通安全・防犯】</p> <p>B - : 防犯対策の未整備</p> <p>B - : 市民の防犯への意識不足 (少年補導員の活動等)</p> <p>【消防・防災】</p> <p>C - : 防災教育の不足</p> <p>C - : 自主防災組織が不十分</p> <p>【基盤整備】</p> <p>D - : 道路問題への市民の意識の共有化</p> <p>【その他】</p> <p>E - : 観光で潤う仕組みができていない</p> <p>E - : アダプト制度の導入 (ボランティア活動の受入)</p> <p>E - : 環境保全から見た農業の推進</p>

2. 生活・環境分野におけるまちづくりの方向性

生活・環境分野におけるまちづくりの方向を提言するにあたっては、前項で掲げた当該分野の課題（「環境」「交通安全・防犯」「消防・防災」「基盤整備」「その他」の5グループにおいて各委員が提案した個別課題）に基づき、香取市が今後推進することを求める事業提案を各委員がシートにて提出し、その『事業提案シート』よりまちづくりの方向を提案することとしました。

生活・環境グループでは、合計24の事業提案がなされましたが、それを集約した結果として、8つの「まちづくりの方向」として提言するものです。

【「まちづくりの方向」提言にいたる討議プロセス】



(1) 里山・里川づくりの推進

1) まちづくりのキーワード

- | | |
|--|--------------|
| ・星の瞬き（輝き） 鳥が歌う（さえずる） 花が舞う（咲く） 魚が踊る（泳ぐ） | |
| ・ゲンジボタルが舞う | ・鮭の遡上 |
| ・次世代の子どもたちに残せるふるさとづくり | ・手入れが行き届いた里山 |
| ・歩く、足を運ぶ | ・汚さない、壊さない |

2) 目指すべき基本的方向

次世代に誇りを持って伝え渡す里山・里川のあるまちづくり

市民が自然の優しさを感じ憩いの場となる手入れが行き届いた里山や、鳥がさえずり、鮭の遡上や魚が泳ぐ姿が見られ、夜には星の瞬きのもと、源氏螢が舞う里川づくりを推進することによって、次世代の子どもたちに残せるふるさとづくりを推進することを提言します。

3) 実施すべき事業の提案

提案事業名		提案者
(1) -	里山・里川と共生した田園ホビー（趣味）空間創成事業	中條 伸吾
(1) -	すぎ（杉）花粉の少ない苗木の植樹事業	香取 義春
(1) -	里山・里川づくり に向けての国調実査事業	城之内 健一
(1) -	JR 成田線沿線への山桜植樹事業	飯田 伸治
(1) -	里山・里川条例の制定事業	〃
(1) -	白鳥とコウノトリの生息地づくり運動事業	〃
(1) -	鮭の産卵孵化及び稚魚養成施設の設置事業	〃
(1) -	里山・里川へ誘う里道の管理及び整備推進事業	〃
(1) -	源氏螢の里整備保全推進事業	小高 博

(2) 環境情報センターの設置

1) まちづくりのキーワード

- | | |
|---------------------|-----------------|
| ・ここに来たら何でもわかる（情報収集） | ・市民が自分のこととして考える |
| ・子どもたちに未来をプレゼント | ・情報発信 |
| ・金をかけない | ・市民と行政はパートナー |
| ・市民主導の運営 | ・（人と情報の）交流拠点 |

2) 目指すべき基本的方向

香取市の環境を守り向上する市民を育てるまちづくり

本市の環境を自分のこととして常に考える市民を育てる場として、また、環境問題を中心に人と情報の交流拠点として、そして市民主導の環境ネットワークの中心であり、情報発信機関として機能する、環境情報センターを設置することを提言します。

また、環境情報センターは、箱ものとして新たな施設を造ることを想定することなく、既存の施設を利活用することによって、市民と行政のパートナーシップの見本として造り上げることを求めます。

3) 実施すべき事業の提案

提案事業名		提案者
(2) -	かとり環境ネットワーク推進事業	井出 洋
(2) -	香取市環境情報センター設置（大利根博物館及び小見川少年自然の家との統合施設内設置）事業	城之内 健一

(3) 水質保全(浄化)の推進

1) まちづくりのキーワード

- | | |
|----------------|---------|
| ・自分ひとりぐらいと思わない | ・水源の涵養 |
| ・住環境の向上 | ・水の健全循環 |
| ・親水緑地 | |

2) 目指すべき基本的方向

水質保全と浄化を推進するまちづくり

本市内河川の水質を保全し、かつ浄化を進めるために、公共下水道事業指定区域内での接続を推進し家庭内排水等のタレ流しを厳しく規制するとともに、指定区域外での合併浄化槽を市が主体となって強力的に推進することを求めます。(なお、設置の義務化〔条例化〕、また厳しい罰則化にも踏み込んで進めることを求めます。)

それによって、水源が涵養され、水の健全循環が図られることを明らかにし、「自分ひとりぐらい」と思わない市民気質の改善を図ることを求めます。

3) 実施すべき事業の提案

提案事業名		提案者
(3)-	合併浄化槽設置推進事業	小高 博
(3)-	市内各河川への水質浄化対策に活性炭(竹炭、竹酢液)使用事業	飯田 伸治

(4) アダプト制度の積極的展開

1) まちづくりのキーワード

- | | |
|-----------|-------|
| ・制度を広報しよう | ・里親公募 |
| ・美化だけではない | |

2) 目指すべき基本的方向

アダプト制度を核とした市民と行政の協働のまちづくり

本市で制度化されているアダプト制度（香取市公共施設等里親制度）を、市民と行政の協働のまちづくりを推進する重要な施策として位置づけ、推進することを提言します。

また、本市の制度はまちの美化活動の一環として一般道路（市道）、公園、その他市が管理する公共施設等を対象としていますが、本制度を一層広報するとともに、その対象範囲を市民の知恵を活用することにより拡大することを求めます。

3) 実施すべき事業の提案

提案事業名		提案者
(4) -	アダプト制度参加登録団体増進事業	飯田 伸治
(4) -	アダプト制度対象公共施設の里親化促進事業	〃

(5) 環境農業への取り組み支援

1) まちづくりのキーワード

- | | |
|-------------------|-------------|
| ・多目的機能 | ・循環型農業 |
| ・安心、安全 | ・魚が住む田んぼ、水路 |
| ・健康によい農作物 | ・環境農業と科学農業 |
| ・ビオトープもひとつの手 | ・水源の涵養 |
| ・効率優先ではない(スローライフ) | |

2) 目指すべき基本的方向

豊かな環境形成を目指した農業創出のまちづくり

環境に配慮した農業の推進を、農業従事者のみにまかせるのではなく、農業への市民の関心を高めつつ、市民が積極的に農業に関与する機会の拡充を図ることを提言します。

特に、休耕田の活用を環境面から検討し、推進することを求めます。

3) 実施すべき事業の提案

提案事業名		提案者
(5)-	休耕田の活用(家畜用飼料の栽培)事業	香取 義春
(5)-	休耕田のビオトープ化事業	飯田 伸治
(5)-	農産物の地産地消運動奨励事業	〃
(5)-	休耕田を利用した小学生の食育・環境実習推進事業	小高 博

(6) 防災・減災教育の強化と防災意識の醸成

1) まちづくりのキーワード

・助け合い意識をみんなで持とう	・子どもの安全
・地域の安全、安心	・防災教育の拠点
・自助・共助	・高齢者を守る
・実践の場が必要	

2) 目指すべき基本的方向

防災・減災教育の充実したまちづくり

市民の安全を確保し、安心して生活が営める環境の形成に向け、市民一人ひとりができること（自助）、地域や行政が連携し助け合うこと（共助）、そして行政が行うべきこと（公助）を明確にする中で、市民の防災意識を向上するための防災教育の充実したまちづくりを推進することを提言します。

3) 実施すべき事業の提案

提案事業名		提案者
(6) -	防災ステーション活用事業	城之内 健一
(6) -	女性消防団の創設事業	小高 博
(6) -	中学生の災害時支援事業	小高 博

(7) 渋滞解消を目指した交通政策の推進

1) まちづくりのキーワード

・旧佐原市内の混雑解消（R356） バイパスは新ルートを！

2) 目指すべき基本的方向

便利で快適な道路交通環境を追求するまちづくり

市街地内で恒常的に見られる渋滞の解消に向け、道路計画の見直しを図ることを求めます。

3) 実施すべき事業の提案

提案事業名		提案者
(7) -	国道 356 号バイパス計画の見直し事業	飯田 伸治

(8) ごみ問題を核とした市民の行動変容

1) まちづくりのキーワード

- | | |
|--------------------|------------------|
| ・官民協働でできること | ・みんなで一緒に考えて行動しよう |
| ・市民自らは税金の無駄遣いはやめよう | ・物を大事に使う |
| ・始末の心づくり | ・大人が変われば子どもも変わる |
| ・市民運動 | ・幼児教育 |
| ・大人の教育 | ・4R 運動 |

2) 目指すべき基本的方向

ごみ問題に積極的に取り組む市民を育成するまちづくり

地球規模での環境保全が求められる中、地球に暮らす人類として、地域に暮らす生活者として、市民一人ひとりがごみの排出という身近なことから、自らの生活環境を見直すことが必要です。この生活環境の見直しという行動を通して、合併後の暮らしている行政地域において市民意識を共通・共有化を図る意味でも、生活者である市民自らも出来る行財政改革という視点を持ち、行動を促すための方策として、市民が知恵を出し合い、理解し合いながら行動変容の意識付けができる環境づくりを推進することを提言します。

また、ごみ問題に対する4R運動(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)それぞれに、市民が取り組む県内における先進地域となることも期待できます。

3) 実施すべき事業の提案

提案事業名		提案者
(8)-	MOTTAINAIからゴミ減らし、知恵くらべ事業	森 登美子

3. メンバーからの事業提案内容

(1) 「里山・里川づくりの推進」に係る事業提案シート

「事業提案シート」 (1) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 里山・里川づくり
併せて E - 観光で潤う仕組み作り

2. 上記課題を解決するための「事業」名

里山・里川と共生した田園ホビー(趣味)空間創成事業

3. 事業の目的

・残された未利用田園空間に、体験型の様々な工房棟を整備し、併せて新しいアイデア、概念をとり入れた里山・ピオトープを造り、都市生活者との交流を実現する。

4. 事業の概要

・事業対象地域を選定し、周回型の遊歩道を整備。高齢者・弱者に配慮した休憩所、地産品販売所、総合案内所など設置。
・地域内に各種工房を公募誘致(例:陶芸、吹きガラス、和紙、木工、竹細工、草木染、押し花 etc)
・必要な新鮮で豊富な地下水源の確保。
・域内に四季の花木(椿、梅、桜、桃、つつじ、さつき、もみじ...)を植樹。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

・香取市:
民間企業:
市民有志 他:

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)

・事業推進に当たっての様々な課題を整理し、確実な中長期的実施計画策定。改めて、香取市・千葉県土地開発公社並びに参加民間企業、各種NPO法人、地元地域住民、市民有識者、市民有志、外部コンサルタントによる推進委員会を組織し、計画をつめる。

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

・小見川区・阿玉台丘陵周辺、山田区・橘ふれあい公園周辺、栗源区・栗山川ふれあいの里公園等の昔の鎮守の森、里山・里川(ピオトープ)に適した地域を利用。

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

・市民: 上記推進委員会で検討。
・行政:

(5) 実現のために重要と考えられること

- ・県有地等利用可能地域はあるか？当該地域の周辺住民の賛同取得、工房群の誘致はどの程度可能か？内閣官房所管の「地域再生計画」を始めとする様々な補助支援措置を最大限受け、特別融資対象事業として認可取得に努力傾注。

(6) その他（効果が波及する分野、結果の検証方法 等）

・

「事業提案シート」 (1) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 里山・里川づくり

2. 上記課題を解決するための「事業」名

すぎ(杉)花粉の少ない苗木の植樹事業

3. 事業の目的

・杉花粉に悩まされる人々が多数いる現実を、少しでも解決できるように、花粉の少ない杉の木をたくさん植えて花粉症を防ぐ。

4. 事業の概要

・花粉の少ない苗木を市民に分け、植樹をみどりの日に合わせて幼、小、中、高齢者、一体となっていく。

5. 事業の具体的内容

- (1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)
 - ・市民と行政の共同体(どちらが主体かと言えば行政が中心となる)
- (2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)
 - ・短期に対応して、中長期にかかる問題
- (3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)
 - ・どこか地域を指定し、全地域に拡大すべきである。
- (4) 役割分担(具体的に何を取組むか)
 - ・市民:植樹、管理等
 - ・行政:苗木の手配
- (5) 実現のために重要と考えられること
 - ・苗木の購入予算、植樹の準備
- (6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)
 - ・

「事業提案シート」 (1) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 里山・里川づくり

2. 上記課題を解決するための「事業」名

里山・里川づくり に向けての国調実査事業

3. 事業の目的

・里山・里川において、赤道・水路を決定し、官民境界をはっきりさせ、誰が管理すべきかを定める。

4. 事業の概要

・国調を早期に実施し、道路・水路は除草だけでも市が行う。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

- ・市民:境界査定の協力
- 行政:予算をつける

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)

- ・短期的

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

- ・国調未調査地区

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

- ・市民:車の通行不可能な赤道は、地区で管理(草刈など)をする。
- ・行政:車の通行可能な赤道は、境界線より余分に管理をして円滑な通行ができるようにする。

(5) 実現のために重要と考えられること

- ・車の通れる道と通れない道を地域で見極め、通行できない道まで行政に管理させない。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)

・

「事業提案シート」 (1) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 里山・里川づくり

2. 上記課題を解決するための「事業」名

JR 成田線沿線への山桜植樹事業

3. 事業の目的

- ・ JR 成田線の車窓より見る傾斜林地の観光資源化を目的とする。
- ・ 里山づくりの一環とし市民の健康増進、情操、癒しの向上に寄与することをめざす。

4. 事業の概要

- ・ JR 成田線の南側ほぼ数十 km に及ぶ車窓より見る荒廃した傾斜林地を整備して、日本を代表する山桜を中心に植栽管理をする運動を官民一体となり展開する事業とする。
- ・ 柴刈り整備をすることにより香取に入った際に、香取の人たちは環境を大切にしていると大いに PR され、桜花爛漫の季節は観光客が電車で大勢来てくれるであらう。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

- ・ 世情が高齢者、団塊の人たちが林住期には入り、健康、癒し、を求める時代であります。一般市民が里山で汗を流し快感を感じましょう。
- ・ 行政は、山林は農政課、社有地、公有地は建設課、鑑賞は観光課ではなく、香取市として運動を展開する必要がありますので企画政策課が率先すべきであります。

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)

- ・ 平成 20 年頃から 20 年間くらい新規植栽をし、維持管理は、永久であります。

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

- ・ 香取市旧瑞穂地区から旧森山地区の JR 成田線沿い約数十 km の範囲。

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

- ・ 市民: 里山づくり組織を作り、千葉県里山活動協定の締結認定事業への取り組み。
- ・ 行政: JR 成田線沿線山桜いっぱい運動の展開推進

(5) 実現のために重要と考えられること

- ・ 市民の多くの人々は山桜への理解は得られると思います、先ず啓蒙運動が中心で経費も高額を掛けることもなく、市民の郷土愛、情操教育、健康福祉、観光資源化への意識付けを高めることが重要と思われれます。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)

- ・ 日光杉並木街道の献上杉苗、川越城主松平親子の 20 年に及ぶ植栽 35km、いわき市高野花見山の炭坑跡地、両総用水水源橋の桜のように数十年後の人々が評価をしてくれることであらう。

「事業提案シート」 (1) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 里山・里川づくり

2. 上記課題を解決するための「事業」名

里山・里川条例の制定事業

3. 事業の目的

・農業・農村の時代変化により、旧来の里山が荒廃し大きくは地球環境、ゴミ投棄、目的樹以外樹木竹等の猛威が問題となり、市民の生活環境の悪化状態となりつつあります。また、香取の川々に鮭が遡上し始めておりますが里山を整備し川にきれいな水を流し鮭の産卵孵化稚魚の放流をし鮭のまちづくりをする、この整備管理を一般市民と山林所有者が協定し市民の健康増進と自然環境の復元を図ることを目的とする。

4. 事業の概要

・全国に率先して作られた千葉県里山活動条例にプラスして、香取市里山活動条例を制定していただきたい。
環境ボランティアとしての里山づくりボランティア組織(NPO 団体)・企業の育成と助成を事業化する。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

・条例制定は、市長、議会、市役所が作ることで。しかし、その気運を醸し出すのは市民の環境づくり、里山づくりの熱意です。部署は環境と農林でしょう。

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か、いつ頃を目処に進めていくか)

・2~3年の間に制定されたい。

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

・香取全地域の里山及び里川

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

・市民:里山・里川に関心を持ち、里山・里川の散策・観察に出歩く。
・行政:現状把握、情報伝達。

(5) 実現のために重要と考えられること

・市民参加の里山・里川づくりのため行政と市民が協働出来るアダプト制度・NPO 活動団体の育成に市の姿勢を作り替えることと思います。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)

・市長さんの掲げる協働活動の推進となり、公・私諸々の連携がうまく行くことになると思います。
・協定締結箇所数とその実績。

「事業提案シート」 (1) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 鳥獣保護

2. 上記課題を解決するための「事業」名

白鳥、コウノトリの生息地づくり運動事業

3. 事業の目的

・水郷・下総谷津田・北総台地、この自然豊かな生物多様な香取地域を白鳥・コウノトリ飛来・鮭の遡上をさせる地域づくりの運動を展開し人々の住みよい香取市とする。

4. 事業の概要

・冬期飛来、遡上する、渡り鳥、鮭が越冬、産卵孵化出来る場所づくりを行政のハード事業と愛護精神醸成のソフト事業を展開する。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

・白鳥やコウノトリ、鮭の観察会を市民に呼びかける。観察散策ウォーキングの企画と情報提供の受け皿づくり。

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か、いつ頃を目処に進めていくか)

・3～4年の間に立ち上げが必要であります。

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

・香取市全域

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

・市民:鳥獣魚愛護精神の醸成、グループづくり。NPO 活動団体等結成。
・行政:情報交換、公開。環境市民組織への支援。

(5) 実現のために重要と考えられること

・飛来・遡上できる場所・施設の確保と設置。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)

・印旛、東庄町、潮来市には白鳥やコウノトリの渡り鳥が飛来しているが香取地域には観察の情報がない。鮭は栗山川各支流・黒部川・小野川・大須賀川の各支流に遡上が確認されております。これは香取市の環境のパロメーターであります。白鳥、コウノトリやオオタカの飛来数、鮭の遡上数の結果測定。

「事業提案シート」 (1) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 里山・里川づくり

2. 上記課題を解決するための「事業」名

鮭の産卵孵化及び稚魚養成施設の設置事業

3. 事業の目的

・市内の各河川支流に産卵するため遡上する鮭の命を守り助けて、再びふる里の里川に数年後子孫を残しに帰る鮭の習性を、人の命の輪廻を諭す情操学習の資とする。

4. 事業の概要

・鮭の遡上出来る環境条件(水をきれいにする、魚道の整備)を整える。
・鮭の産卵、孵化、稚魚育成施設の設置。(休耕田利用)

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

- ・漁業権を有するNPO組織の立ち上げ。
- ・一級河川は、香取地域整備センター。支流は土地改良区、農政課の所管だと思います。
- ・現在の行政のセクションを超えたプロジェクトチームを構成し推進する課題でありましょう。

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か、いつ頃を目処に進めていくか)

- ・鮭が数年来香取地域の小さな里川にまで遡上してきて、子孫を残せないでいる状態です。早急に事業の取り上げ実施が望まれます。

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

- ・モデル地区として、山倉地区と瑞穂地区に施設の設置をし結果を見て、栗山川の各支流そして黒部川、小野川、大須賀川等の各水源支流数十カ所の設置が考えられます。

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

- ・市民:地元市民の鮭遡上への意識高揚。
- ・行政:鮭プロジェクトチームを構成しその実現を図る。

(5) 実現のために重要と考えられること

- ・鮭遡上観察を(11月・12月)香取市の冬観光資源とする。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法等)

- ・鮭の遡上になぞらえて命の大切さを環境学習の教材として取り上げ、ひいては郷土愛の醸成を醸し出す。

「事業提案シート」 (1) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 里山・里川づくり

2. 上記課題を解決するための「事業」名

里山・里川へ誘う里道の管理及び整備推進事業

3. 事業の目的

- ・ 国有財産の赤道、青線(里道)が市町村管理に移管され、市町村長に管理活用することが認められました。
- ・ この無料の大資産をこれからのまちづくりに活用し香取が住みたい市となることを目的とする。

4. 事業の概要

- ・ 市民による赤道、青線用地管理組織(NPO等)に市が管理委託を行い、旧佐原市緑の基本計画にある、歴史、自然、人いきいき 緑と水の回廊の町の実現策として赤道、青線(里道)の整備を行う。

5. 事業の具体的内容

- (1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)
 - ・ 市民による里道活用町おこし建設隊を結成する。
 - ・ 都市建設課、企画政策課
- (2) 実施時期(短期的か、中長期的か、いつ頃を目処に進めていくか)
 - ・ 香取市総合基本計画実施最終年度ごろにだれかが気づくことでしょう。
- (3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)
 - ・ モデル地区を指定し、波及効果を目指す。
- (4) 役割分担(具体的に何を取組むか)
 - ・ 市民:眠れる役所への呼びかけ
 - ・ 行政:無料の眠れる資産、まちづくり究極のプロジェクトを起こす人材の発見。
- (5) 実現のために重要と考えられること
 - ・ 現行の条例改正をし、規制の緩和を行う必要がある。
- (6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法等)
 - ・ 田舎のまちづくり、市内全域に網状にネットワークされた里道が整備されたあかつきは、「鳥歌い、花舞う、魚踊る」香取市が桃源郷となることでしょう。

「事業提案シート」 (1) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 源氏蛭の生息空間の確保

2. 上記課題を解決するための「事業」名

源氏蛭の里整備保全推進事業

3. 事業の目的

・(源氏蛭の里)里山(森林・谷津田・水路・湧水・等)は生物(源氏蛭・カワニナ等)の生息空間です。源氏蛭を愛護することを通じて生物の生息空間の保護及び源氏蛭の保護を図る。

4. 事業の概要

有識者の調査・研究
地元の学校での生物(蛭・カワニナ等)の体験学習を通じて生物(希少種:源氏蛭)の保全
市民・市民有志・地元地域住民等で生物(希少種:源氏蛭)が生息出来る環境保全活動

5. 事業の具体的内容

- (1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)
 - ・香取市、市民有志、地元地域住民
 - ・環境保全課、農政課、教育委員会
- (2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)
 - ・中期
 - 10年
- (3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)
 - ・源氏蛭の生息地域
- (4) 役割分担(具体的に何を取組むか)
 - ・市民:源氏蛭の生息空間の保全に努める。
 - ・行政:源氏蛭保護条例の制定・源氏蛭の里指定・香取市天然記念物指定
- (5) 実現のために重要と考えられること
 - ・地元の地権者(里山・森林・谷津田・水路・湧水・等)の協力(保全)
- (6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)
 - ・

(2)「環境情報センターの設置」に係る事業提案シート

「事業提案シート」 (2) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 環境情報センターの設置

2. 上記課題を解決するための「事業」名

かとり環境ネットワーク推進事業

3. 事業の目的

- (1) 新まちづくりの第一の基本目標は、「水と緑の環境先進のまち」であり、これの推進に係わる、情報収集・発信のためのセンターを設置する。
- (2) これからの環境保全は、市民と行政のパートナーシップ(協働)で推進すべきであり、特にボランティアを中心とする市民活動のセンター的機能を持たず場とする。

4. 事業の概要

- 上記3の事業目的達成のため、次の事業を行う。
- (1) 世界、日本、千葉県、香取市に於ける環境保全施策等の紹介、情報提供等
- (2) 生活・環境に係わるボランティアグループの活動の紹介、交流、自己啓発等の情報収集・発信
- (3) 市民・学生・生徒・児童等に対する環境保全意識の啓蒙

5. 事業の具体的内容

- (1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)
名称:香取市環境情報センター 又は かとり環境ネットワーク
事業主体:運営はeスタッフを中心とした市民グループが行い、行政はハード・ソフト両面にわたり財政的支援を行う。
- (2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)
「当面の姿」段階(H19.4~H21.3)
・必要最小限の執務室兼展示室を置く。
・センター運営要員は、非常勤のボランティア数名とする。
「将来の姿」段階(H21.4~H24.3)
・「執務室」及び「展示室」を置く。
・センター運営要員は、1名の常勤スタッフと数名のボランティアとする。
- (3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)
・市全域
- (4) 役割分担(具体的に何を取組むか)
・市民:センターの日常運営
・行政:ハード・ソフト両面にわたる財政的支援

(5) 実現のために重要と考えられること

箱物行政の弊害が出ないように工夫すること

例：市遊休施設の活用

国、千葉県からの支援の研究

将来、常勤スタッフ配置のための財源確保を工夫すること

例：NPO法人の設立

(6) その他（効果が波及する分野、結果の検証方法 等）

環境eスタッフ活動の推進

香取市環境基本計画の策定当たっては、市民側の意見を反映する立場で活動し、計画実行に当たっては実践と点検を行う自発的活動を行う機関として、環境スタッフ会議を設ける事が望ましい。

当事業を通して景観面での「まちづくり」にも寄与できる。

当事業の推進により香取市におけるボランティアグループの活発な連携に寄与できる。

「事業提案シート」 (2) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 環境情報センターの設置

2. 上記課題を解決するための「事業」名

香取市環境情報センター設置(大利根博物館及び小見川少年自然の家との統合施設内設置)事業

3. 事業の目的

・コストの削減と宿泊施設を活用した「蛍観察」「星空観察」を行う事ができる。

4. 事業の概要

・統合 県施設内に常設的なセンターの部屋を確保する 県行事への積極的協力

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

- ・市民:環境系と体育系
- 行政:教育庁の体育部署と環境部署との融和

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)

- ・中期的

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

- ・大利根博物館を廃止、小見川少年自然の家と統合

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

- ・市民:統合を推進 積極的活用
- ・行政:県庁環境部署と教育部署への働きかけ

(5) 実現のために重要と考えられること

- ・旧佐原地区と小見川地区との融和

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)

・

(3)「水質保全(浄化)の推進」に係る事業提案シート

「事業提案シート」 (3) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 河川の水質の汚染

2. 上記課題を解決するための「事業」名

合併浄化槽設置推進事業

3. 事業の目的

・合併浄化槽を普及する事で地域住民の住環境の向上に努める。

4. 事業の概要

・各河川ごとに河川浄化実行委員会を設立する。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

・各河川の地域住民
下水道課

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)

・中期
10年間

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

・合併浄化槽設置地域

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

・市民:合併浄化槽の設置(普及に努める)
・行政:助成金枠の確保に努める。

各河川ごとの合併浄化槽設置状況を市民に公表する。

(5) 実現のために重要と考えられること

・河川に対する市民意識の高揚に努める。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)

・

「事業提案シート」 (3) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 河川の水質の汚染

2. 上記課題を解決するための「事業」名

市内各河川への水質浄化対策に活性炭(竹炭、竹酢液)使用事業

3. 事業の目的

- ・房総の地の竹林が森林に繁殖し猛威を振るって他の樹種を脅かしております。
- ・この竹を伐採して、竹炭、竹酢液づくりの振興を図り、竹炭による河川の水質浄化装置に利用し里山づくりと環境浄化を図ることを目的とする。

4. 事業の概要

- ・河川に竹炭を入れ汚れた水質の濾過機能、吸着機能の働きにより、悪臭、不純物の吸収、竹炭に付着した微生物が汚染した有機物を分解し清流復活がはかれる。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

- ・市民による竹の伐採竹炭づくり、農林部署、または、環境保全部署は、竹炭の買い上げをし、河川水浄化装置への利用を図る。

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)

- ・環境保全により、里川に魚が生息できるよう水質改善を図るため即刻事業化し、さらに継続することが肝要である。

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

- ・市内全域の河川

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

- ・市民:竹炭づくりのための里山づくり
- ・行政:事業化、予算化。

(5) 実現のために重要と考えられること

- ・幾度か試験的に実施されたようですが、継続は力成り。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法等)

- ・河川の水質浄化がなされ、生物の多様化が促進され、川に魚(フナ・ドジョウ・タナゴ・鮭の遡上)が泳ぎ、山に花咲き、空に鳥が囀る環境が戻ってくると思います。

(4)「アダプト制度の積極的展開」に係る事業提案シート

「事業提案シート」 (4) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

E - アダプト制度の導入(ボランティア活動の受入)

2. 上記課題を解決するための「事業」名

アダプト制度参加登録団体増進事業

3. 事業の目的

・市内の各ボランティア組織の活躍で市民の生活が守られており、市民による香取市づくりの根幹である協働のまちづくりは最大のよりどころがボランティア組織であります。このためボランティア組織の社会認識の高揚をはかることを目的とする。

4. 事業の概要

・香取市のボランティア組織が協働でのまちづくりをしてきたと思います。今後もボランティア組織、NPO 組織の活動如何によると思います。
千葉県は NPO 立県ちばをスローガンに NPO の推進をしております、この県の事業を積極的に推進する事業です。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

- ・現在組織化されているボランティア組織、NPO 組織、そしてまちづくりを目指す新規の組織が対象となります。
- ・社会福祉協議会のボランティアセンターを解体、組織の再編をし、行政組織が縦横に対応できる部署を新設する。

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)

- ・3～4年の間に実践できるような行政機構の整備をする。

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

- ・香取市全域

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

- ・市民:ボランティア組織・NPO 活動組織の結成と組織充実。
- ・行政:協働推進の行政機構改革

(5) 実現のために重要と考えられること

- ・市長さんの公約である、協働の実現。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)

- ・ボランティア組織、NPO 活動組織、...等の香取市としての組織把握、連絡協議会の結成。

「事業提案シート」 (4) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

E - アダプト制度の導入(ボランティア活動の受入)

2. 上記課題を解決するための「事業」名

アダプト制度対象公共施設の里親化促進事業

3. 事業の目的

・今後のまちづくりの前提が「協働」であることを認識し、全市民、全機関が公共心、郷土愛の精神を醸し出す施策が必要であります。このため本事業の活用推進が急務であります。

4. 事業の概要

・旧佐原市にこの制度はありましたが、それを運用しようとする役所の姿勢が伺われませんでした。新市への移行に伴い制度は佐原市を香取市に看板を変えたのみであると思われます。これを刷新するため実践事業の新設をする。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

- ・市長さんの公約である「協働」は市民全員で実施することです。
- ・これまでの都市建設課とりまとめ、関係各課実施の責任逃れでなく明確な責任体制を確立されたい。

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)

- ・早急

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

- ・香取市全域

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

- ・市民:行政遂行責任所在の監視
- ・行政:旧体制の反省

(5) 実現のために重要と考えられること

- ・市長さんの公約実現に市民がこぞって協力すること。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法等)

- ・ボランティア組織、NPO 活動組織等と連携し新市のまちづくりが推進できると思います。

(5)「環境農業への取り組み支援」に係る事業提案シート

「事業提案シート」 (5) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 休耕田の自然環境浄化活用

2. 上記課題を解決するための「事業」名

休耕田の活用(家畜用飼料の栽培)事業

3. 事業の目的

・家畜用の餌は年々不足し、外国から高値で輸入しなければならない。少しでも国内で栽培できるものは、休耕田を活用して(米、麦、トウモロコシ等を)生産すべきである。

4. 事業の概要

・各地にある休耕田を有効に活用するため、家畜用(米、麦、トウモロコシ等)を栽培し、流通ルートを活用し、飼料として活用できるように生産体制を確立する。

5. 事業の具体的内容

- (1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)
 - ・行政(農政課が中心となり香取市の特色を生かすこと)
- (2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)
 - ・短期に取り組み、中長期にわたり安定させる。
- (3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)
 - ・市全体で取り組むのが一番大切である。
- (4) 役割分担(具体的に何を取組むか)
 - ・市民:休耕田を有する農業従事者の参加と、それをフォローする市民の参加を募る。
 - ・行政:行政がリードして農家へ依頼をする。ルートを確立して生活の安定をはかる。
- (5) 実現のために重要と考えられること
 - ・生産者と飼料を生かすルートの確立が大切である。
- (6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)
 - ・

「事業提案シート」 (5) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 休耕田の自然環境浄化活用

2. 上記課題を解決するための「事業」名

休耕田のビオトープ化事業

3. 事業の目的

・北総台地に無数に入り組む谷津田が形成され、その先端部分はかつて水田として農業生産がなされていたものの、国策により休耕田となり荒廃しております、これを人口増加の激しい千葉県環境対策としてビオトープに活用し、環境立県ちばの一翼を担う香取市としたいことを目的とする。

4. 事業の概要

・休耕田を市が借り上げ(購入し) 市民活動で管理するビオトープを作る。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

- ・行政は休耕田をビオトープ化する制度を確立する。(特区の申請)
- ・市民は、ビオトープの運営管理をする市民団体を作り、行政と企業と協働で実施する。

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)

- ・30年に及ぶ米の生産調整で荒廃きわまりない生活上からも危険な場所となりつつあり、ことは緊急を要し、短期から長期にまたがって推進する必要があります。

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

- ・香取市全域

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

- ・市民:環境意識の高揚
- ・行政:制度の確立

(5) 実現のために重要と考えられること

- ・国策の変更であると思いますので、国、県要求を強力にすることが肝要でありましょう。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法等)

- ・環境対策と環境学習の一挙両得の事業であります。

「事業提案シート」 (5) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 休耕田の自然環境浄化活用

2. 上記課題を解決するための「事業」名

農産物の地産地消運動奨励事業

3. 事業の目的

・農業経営の多様化時代、大別して高生産性農業と身土不二を理念とする環境保全型農業は、相容れない思想であります。そこで農政課業務を明確に2分化して、この有機農業等地産地消の推進を奨励し、食の安全安心の農業生産をはかる。

4. 事業の概要

・日本農林規格(JAS)有機栽培認証圃場、冬期湛水不耕起稲作、ふなっこ米栽培等環境にやさしい農業の推進を極力進めるため食の安全安心の食育事業のため地元で採れた農産物、顔の見える関係の産物を地元で消費する大切さを感じてもらおう市民運動を展開する。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

- ・農産物生産者と消費者。
- ・農政課。

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)

- ・早急。

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

- ・香取市全域。

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

- ・市民:有機農産物の生産と地元農産物の消費。
- ・農政課の職務分掌の見直し。

(5) 実現のために重要と考えられること

- ・香取市農業の位置づけ、農業経営体系の多様化に伴い行政の対応。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法等)

- ・香取地域の地域経済全体を左右する課題の一里塚であり、21世紀の農業のあり方でありましょう。

「事業提案シート」 (5) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - 休耕田の自然環境浄化活用

2. 上記課題を解決するための「事業」名

休耕田を利用した小学生の食育・環境実習推進事業

3. 事業の目的

・子供達が自分の手で農作物を育てることにより地域農業へ関心をもつようになることを目的として市内小学校で稲作の実習を行う。

4. 事業の概要

・ 田植え 生物の観察 稲刈りを体験 収穫米を給食にして食べる。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

・各小学校
環境保全課・農政課・教育委員会

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か、いつ頃を目処に進めていくか)

・短期
1年・2年

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

・各小学校

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

・市民:農業の技術指導
・行政:休耕田の有効活用条例

(5) 実現のために重要と考えられること

・農家に休耕田を提供してもらうだけでなく、畝きりなど耕作準備への強力なバックアップが必要。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法等)

・

(6)「防災・減災教育の強化と防災意識の醸成」に係る事業提案シート

「事業提案シート」 (6) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

C - 防災教育の不足

2. 上記課題を解決するための「事業」名

防災ステーション活用事業

3. 事業の目的

・建設が始まっている、防災ステーションでの防災教育を市民にも教え、教わる。

4. 事業の概要

・防災ステーションを体験型の防災教育に、市民からの指導者も含めて、市民に防災啓発を行う。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

- ・市民:警察OB、消防OBを講師としてお願いし、市民への啓発
- 行政:警察・消防

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)

- ・短期的

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

- ・香取市全域

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

- ・市民:OBへの協力依頼
- 行政:場所の無料提供、指導者への依頼

(5) 実現のために重要と考えられること

- ・防災は一人で出来るが、同じ地区の人が沢山集まってもらう事が重要

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)

・

「事業提案シート」 (6) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

C - 非常備消防(消防団)体制が不十分

2. 上記課題を解決するための「事業」名

女性消防団の創設事業

3. 事業の目的

・消防団の強化

4. 事業の概要

・女性消防団の組織化、団員の育成(実地研修) 各種装備等の整備を進める。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

・自営業・主婦
香取広域市町村圏事務組合

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)

・短期
1年・2年

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

・香取市全域

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

・市民:緊急時・災害時の団員の実働可能性を考慮したうえで、各消防団長が進める。
・行政:消防団に関わる現況情報の公開(消防団名簿等)を行うとともに、本事業を進めるに当たり、消防署の指導や連携をルール化する。

(5) 実現のために重要と考えられること・

・女性でも使いこなせる装備等の準備や改良が必要。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)

・

「事業提案シート」 (6) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

C - 災害弱者の救済システムの構築化

2. 上記課題を解決するための「事業」名

中学生の災害時支援事業

3. 事業の目的

・災害弱者を災害現場から救護施設までの間の搬送

4. 事業の概要

・各中学校ごとに災害弱者の救済システムの構築

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

- ・中学生
障害福祉課・教育総務課

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)

- ・短期
1年・2年

(3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)

- ・香取市全域

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

- ・市民:災害弱者を搬送する。
- ・行政:災害弱者の救済条例

(5) 実現のために重要と考えられること

- ・中学生がどこまで参加するか、ガイドラインを設定するとともにコンセンサスを形成すること。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)

・

参考情報(千葉県 船橋市)を添付。

(7) 「渋滞解消を目指した交通政策の推進」に係る事業提案シート

「事業提案シート」 (7) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

D - 道路における渋滞の解決

2. 上記課題を解決するための「事業」名

国道 356 号バイパス計画の見直し事業

3. 事業の目的

・ 佐原市内を通過する無用な自動車の市内通行回避をすることを目的とする。
市内への用事、(買い物客・観光客)のあるものが安心・安全に通行でき、ひいては市内への来訪客の増加を目的とする。

4. 事業の概要

・ 旧佐原市内の国道 356 号線の路線見直しをし飯島地先から津宮鳥居河岸の間を利根川の堤防に路線替えをする。
国道 5 1 号線交差点から日の出建設までの 700 ~ 800m の間に約 10 個の信号機があり、渋滞、環境汚染、市民生活の不便、観光客からの敬遠源となっておりますが、この解消により本市の発展になります。

5. 事業の具体的内容

(1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)

- ・ 国・県・市
- ・ 市民の多くの方が市長さんに願います。

(2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)

- ・ すぐ実施されたい。

(3) 実施地区(市全域か、どこが特定の地域か)

- ・ 旧佐原地域国道 356 号線

(4) 役割分担(具体的に何を取組むか)

- ・ 市民:市民がことあるごとに市長さんに見直しを要望する。
- ・ 行政:国・県への要請活動

(5) 実現のために重要と考えられること

- ・ 市街地の周辺、(東大戸、瑞穂、津宮、新しく合併した小見川、山田、栗源等)の人々や市内に用事のない通行者の声を集約すること。

(6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)

- ・ 単に経済効果にとどまらず、文化、学術、旧佐原地区の命運に係わる事業であり、結果の検証は計り知れない。

(8)「ごみ問題を核とした市民の行動変容」に係る事業提案シート

「事業提案シート」 (8) -

1. 課題(「課題の集約」から選択)

A - ごみ、廃棄物の収集処理体制が不十分

2. 上記課題を解決するための「事業」名

MOTTAINAIからゴミ減らし、知恵くらべ事業

3. 事業の目的

・生活する市民が排出している「ごみ」を処理するために、莫大な処理費用が費やされている事を認識し、市民自らができる、財政圧迫要因を取り払うための行動を促すために、全市民的な市民の分別収集意識への啓発・醸成・向上の契機づくりとする

4. 事業の概要

市民の「ごみ減量」に対する具体的な比較的細部にわたる意識調査の実施
「ごみ減量」の為のアイデア募集
応募されてきたアイデアの実施に向けたコンペの開催
最も評価されたアイデアを施策として実施

5. 事業の具体的内容

- (1) 事業主体(市民:どのような方々か、行政:どの部署か)
- ・市民:全市民
 - 行政:廃棄物対策
- (2) 実施時期(短期的か、中長期的か。いつ頃を目処に進めていくか)
- ・周期的に継続して実施する。
- (3) 実施地区(市全域か、どこか特定の地域か)
- ・市全域を対象とするが、実施にあたって、モデル地域を設けるという方策も在る。
- (4) 役割分担(具体的に何を取組むか)
- ・市民:参加・協力・参画・行動
 - ・行政:予算確保、情報集約・分析、調整・連携、プランニング、実施
- (5) 実現のために重要と考えられること
- ・周知、調整、意識高揚。
- (6) その他(効果が波及する分野、結果の検証方法 等)
- ・「環境基本計画」策定との連動。